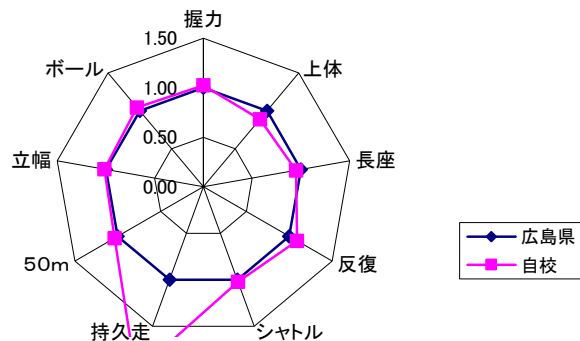


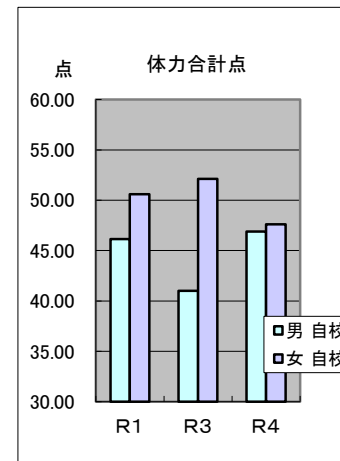
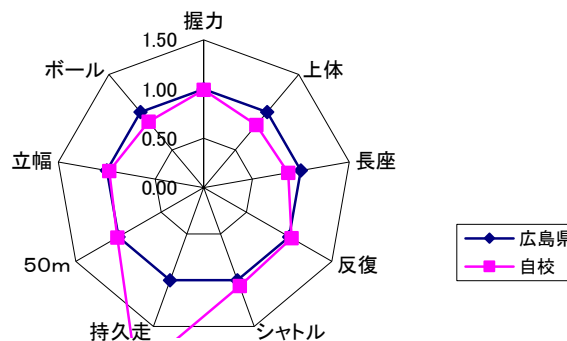
男子の体力合計点 学校 46.9点 県平均 42.82点

体力・運動能力調査比較(中2男子)



女子の体力合計点 学校 47.61点 県平均 49.1点

体力・運動能力調査比較(中2女子)



R4体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析 (全学年の状況も踏まえて記入すること)

- ① 50m走(呉市の課題種目)
 - ・前年度と比較すると、2年男子が0.08秒、3年男子が0.47秒伸びている。2年女子、3年女子とも前年を下回っている。1年生男女とも県平均・全国平均を上回っている。
 - ・運動部に所属していない生徒の運動量が少ない。
- ②立ち幅跳び(中学校区の課題種目)
 - ・1年、2年男子は全国平均を上回っているが、その他は全国・県平均を下回っている。特に3年男子は15cm近く下回っている。
 - ・跳ぶという動作がスムーズに行えていない。腕の振りや踏み切りのタイミングがバラバラになっている。
- ③長座体前屈(自校の課題種目)
 - ・前年度と比較すると、2年男子は10cm、2年女子は4cm、3年男子は0.2cm伸びた。3年女子は2cm記録が下がった。しかし、1年生以外のクラスは全国平均・県平均を下回っている。
 - ・柔軟性を高める動きを取り入れる。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目 (50m走)	具体的な取組内容 ・保健体育科の授業で、補強運動の中に、ダッシュなどを取り入れ短い距離を速く走るための筋力を高める運動を必ず取り入れる。 ・陸上競技の指導において、自分に合うピッチとストライドを意識させた動きができるようにさせる。
②中学校区の課題種目 (立ち幅跳び)	具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定) ・小中で連携し、小学校1年生から中学校3年生まで全学年で、児童生徒の発達段階や個人の能力を考慮しながら、授業の準備運動に「ジャンプ運動」を実施する。 ・走り幅跳びや走り高跳びの指導において手の振りや踏み切りの運動をしっかりと意識させる。
③自校の課題種目 (長座体前屈)	具体的な取組内容 ・柔軟性が高いことによるメリットをしっかりと理解させる。 ・体育の授業において二人組で柔軟運動をしっかりと取り入れる。 ・部活動前に全クラブ柔軟運動を取り入れる。

※ 具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)